

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	医療関係者問題調査検討会等経費	事業開始年度	昭和63年度	作成責任者		
担当部局庁	厚生労働省医政局	担当課室	医事課	医事課長 村田善則		
会計区分	一般会計	上位政策	—			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計 画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	①医師研修研究経費 臨床研修指導医が研修医を指導する上で、より効果的な教育訓練の技法を開発し普及させるため討議を行い、優れた指導者を養成する。 ②医療関係者問題調査検討会費 良質で効率的な医療を確保するために必要な医療関係者に関する検討会を開催する。 ③外国人医師等臨床修練認定経費 我が国の医師等の資格を有しない外国医師等が医療技術を修得するために、その研修に必要な範囲内において、医療行為の認定を行う。 ④医師等資質向上対策費 行政処分を受けた医師等の再教育を行う。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	①医師研修研究経費 効果的な教育訓練の技法を開発し普及させるため、討議を行い指導者の養成を図る。 ②医療関係者問題調査検討会費 臨床研修病院の指定基準、指導医の質及び量の確保、臨床研修において必修とする分野等について検討する。 ③外国人医師臨床修練認定経費 臨床修練指定病院、臨床修練指導医、臨床修練医の認定を行う。 ④医師等資質向上対策費 行政処分を受けた医師等に対し再教育講習会を実施する。					
実施状況	・チーム医療の推進に関する検討会 平成21年8月～平成22年3月まで計11回開催。 ・行政処分を受けた医師等に対しての再教育講習会 平成21年11月、平成22年3月に開催。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	13	10	9	13	37
	執行額	5	5	8		
	執行率	38.5%	50.0%	88.9%		
	総事業費(執行ベース)	5	5	8		
自己点検	支出先・ 用途の把握 水準・ 状況	年度当初に月別の年間執行計画を作成し、適宜見直し(終了月の実績反映等)を行い、適切な執行・把握を行っている。また、予算の執行は全て厚生労働省で直接執行しており、全ての支出先を把握している。				
	見直しの 余地	予算額と執行額の乖離の理由を分析の上、予算要求の方法について改善していく点がある場合には、的確に予算に反映してまいりたい。				
予算 チーム 監視 の 所 見 率 化	本事業の必要性、執行の観点からの評価としては、執行率も改善してきており概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。					
補 記						

厚生労働省
8百万円

〔各種検討会の開催に必要な経費〕

A. 検討会委員
6百万円

・検討会出席謝金、検討会出席旅費

【随意契約】

B. (社福)日本盲人職能開発センター
1百万円

・検討会議事録速記料等

【随意契約】

C. 大和綜合印刷(株)
0.7百万円

・再教育講習会テキスト印刷代

【随意契約】

D. (株)東京国際フォーラム
0.2百万円

・検討会会場借料

うち事務費
0.1百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 検討会出席委員			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
謝金	検討会出席謝金	4			
旅費	検討会出席旅費	2			
計		6	計		0
B. (社福)日本盲人職能開発センター			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	検討会議事録速記	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0